

# 平成22年度 蒲郡市事務事業評価 結果報告書

= 上下水道部下水道浄化センター =

平成22年度事務事業評価表	担当	上下水道部 下水道浄化センター	内線等	8009
---------------	----	-----------------	-----	------

事務事業名	408	浄化センター維持管理事業		
根拠法令等	下水道法、水質汚濁防止法	事業開始年度 事業期間	昭和52年度	
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	下水道	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	生活排水対策・快適な都市環境づくりのまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市街地における下水の排除と公共用水域の水質保全のために
対象(受益者) (誰・何を)	蒲郡処理区に居住する住民を対象に
目標 (目指す成果)	快適でやすらぎのある生活環境の向上を目指して
そのための 手段 (手法)	下水道浄化センターで適正な維持管理運転をすること

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
年間下水処理量	6,451,130m <sup>3</sup> /年	6,158,850m <sup>3</sup> /年	6,600,000m <sup>3</sup> /年
下水汚泥処分量	3,884t/年	3,832t/年	3,840t/年

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
水質基準達成率	目標			100%	100%
	実績	100%	100%		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

水質基準達成率	(水質汚濁防止法水質規制基準を守れた日/年間) × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	1.30人	次長 課長級	0.90人	補佐級	0.40人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	1.30人	次長 課長級	0.90人	補佐級	0.40人	係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	308,495	317,143	321,521
	人件費	12,479	12,067	
	合計	320,974	329,210	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	320,974	329,210	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	市街地における下水の排除と公共用水域の水質保全のために必要である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	平成22年度から3年間の包括管理委託を実施して、経費の軽減と民間ノウハウを取り入れた効率的な維持管理を実施している。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全に資している。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	経年劣化のため機能低下が進み施設の信頼性がかなり落ちており老朽化対策及び耐震化の推進を早く推し進める必要がある。人材確保は、急務である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	包括管理委託で直接的な業務はなくなるが、施設全体の把握と管理が必要であり、この先経験年数の少ない体制に移行していくことになり、24年度以降も人材の確保、育成が必要である。

平成22年度事務事業評価表	担当	上下水道部 下水道浄化センター	内線等	8009
---------------	----	-----------------	-----	------

事務事業名	409	浄化センター整備事業		
根拠法令等	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律	事業開始年度 事業期間	平成3年度	
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	下水道	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	生活排水対策・快適な都市環境づくりのまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市街地における下水の排除と公共用水域の水質保全のために
対象(受益者) (誰・何を)	下水道浄化センターの処理施設を対象に
目標 (目指す成果)	正常な保守と機能の充実を目指して
そのための 手段 (手法)	処理施設の改築を計画的に実施する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
整備工事費	240,205,350円/年	245,087,850円/年	447,500,000円/年

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
整備工事達成率	目標			69.7%	30年度
	実績	58.9%	62.8%		
	目標				年度
	実績				
	目標				年度
	実績				

指標の説明

整備工事達成率	(継続整備工事金額/全体計画金額(H3-H30)) × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.70人	次長 課長級	0.45人	補佐級	0.25人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.70人	次長 課長級	0.45人	補佐級	0.25人	係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	240,205	245,088	447,500
	人件費	6,700	6,480	
	合計	246,905	251,568	
財源 内訳	特定財源	132,294	128,456	
	一般財源	114,611	123,112	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	浄化センター施設を適切に維持管理していくために必要である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	国の補助金等を利用して効率的に実施している。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	平成3年度から実施をしていますが、経費の制約もあり、まだ多くの施設が未改築で安心できません。耐震対策も未実施で今後とも事業実施を継続します。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	改築計画に基づき補助対象として整備を進めていくが、補助金をめぐる状況は厳しいものがある。津波対策の検討が必要である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	改築計画に基づき整備を進め、機能の充実と向上を図り、平成24年度からは、管理本館の耐震対策を実施していきます。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 下水道浄化センター	内線等	8009
事務事業名	410	中水道（下水道再生水）利用事業			
根拠法令等	下水道法	事業開始年度 事業期間	平成元年度		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	下水道		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	生活排水対策・快適な都市環境づくりのまちづくり				
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み				

事務事業の内容

目的 (何のために)	下水道資源である再生水の有効利用を図るため
対象(受益者) (誰・何を)	下水道浄化センター周辺公共施設を対象に
目標 (目指す成果)	水洗便所用水、散水及び修景用水等の雑用水としての利用を目指して
そのための 手段 (手法)	中水道施設を適切に維持管理する。

事業実績（事業の概要）

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
再生水有効利用量	49,488m <sup>3</sup> /年	45,557m <sup>3</sup> /年	46,000m <sup>3</sup> /年
再生水有料利用量	21,784m <sup>3</sup> /年	19,516m <sup>3</sup> /年	20,000m <sup>3</sup> /年
再生水利用料金	2,614,080円/年	2,341,860円/年	2,400,000円/年

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
再生水有効利用率	目標			36.0%	
	実績	38.7%	35.7%		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

再生水有効利用率	(再生水有効利用量/再生水処理能力) × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.15人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.05人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.15人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.05人	係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	3,569	0	1,000
	人件費	1,438	1,390	
	合計	5,007	1,390	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	5,007	1,390	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	利用水量が減少傾向にあるが、水の大切さをPRするために必要である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	使用料金が上水道と比べると割高感がある。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	下水道資源である再生水の有効利用と中水道の役割、重要性への理解が得られる事

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	施設老朽化及び再生水維持管理水質基準の強化により維持管理方法及び利用施設の見直しが必要である。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	大口利用者である競艇場が改築に伴い利用を中止計画でいるので、今後の有料利用者及び場内での利用方法の検討をする。

平成22年度事務事業評価表	担当	上下水道部 下水道浄化センター	内線等	8009
---------------	----	-----------------	-----	------

事務事業名	411	城山ポンプ場維持管理事業		
根拠法令等	蒲都市下水道条例 2 条	事業開始年度 事業期間	昭和 5 2 年度	
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2 . 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	下水道	
基本目標、施策に対する貢献度	3 点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	生活排水対策・快適な都市環境づくりのまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	5 点 概ね達成できた			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市街地における下水の排除と公共用水域の水質保全のため
対象(受益者) (誰・何を)	処理区に居住する住民を対象に
目標 (目指す成果)	正常な雨水・汚水処理の保全を目指して
そのための 手段 (手法)	中継ポンプ場施設を適正に維持管理する。

事業実績 (事業の概要)

項 目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
汚水送水量	2,208,217m <sup>3</sup> /年	2,199,549m <sup>3</sup> /年	2,200,000m <sup>3</sup> /年
雨水排水量	370,650m <sup>3</sup> /年	296,870m <sup>3</sup> /年	300,000m <sup>3</sup> /年
維持運転委託料	17,010,000円/年	20,012,580円/年	19,868,000円/年

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
汚水ポンプ稼働率	目標			50.0%	
	実績	54.8%	50.2%		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

汚水ポンプ稼働率	(汚水ポンプ稼働時間/年時間) × 100



事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.40人	次長 課長級	0.25人	補佐級	0.15人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.40人	次長 課長級	0.25人	補佐級	0.15人	係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	33,751	30,390	37,236
	人件費	3,824	3,699	
	合計	37,575	34,089	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	37,575	34,089	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	三谷地区の汚水を送水することと、丸山地区の雨水を排除して浸水を防止するため必要である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	平成22年度から3年間の包括管理委託を実施して、経費の軽減と民間ノウハウを取り入れた効率的な維持管理を実施している。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全に資している。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	経年劣化のため機能低下が進み施設の信頼性がかなり落ちており老朽化対策及び耐震化の推進を早く推し進める必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	包括管理委託で直接的な業務はなくなるが、施設全体の把握と管理が必要であり、この先経験年数の少ない体制に移行していくことになり、24年度以降も人材の確保、育成が必要である。

平成22年度事務事業評価表	担当	上下水道部 下水道浄化センター	内線等	8009
---------------	----	-----------------	-----	------

事務事業名	412	城山ポンプ場整備事業		
根拠法令等	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律	事業開始年度 事業期間	平成3年度	
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	下水道	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	生活排水対策・快適な都市環境づくりのまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市街地における下水の排除と公共用水域の水質保全のために
対象(受益者) (誰・何を)	城山ポンプ場施設を対象に
目標 (目指す成果)	正常な保守と機能の充実を目指し
そのための 手段 (手法)	ポンプ場施設の改築を計画的に実施する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
整備工事費	116,563,650円/年	66,570,000円/年	114,000,000円/年

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
整備工事達成率	目標			56.3%	30年度
	実績	45.5%	49.5%		
	目標				年度
	実績				
	目標				年度
	実績				

指標の説明

整備工事達成率	(継続整備工事金額/全体計画金額(H3-H30)) × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.15人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.05人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.15人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.05人	係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	116,564	66,570	114,000
	人件費	1,438	1,390	
	合計	118,002	67,960	
財源 内訳	特定財源	56,969	28,529	
	一般財源	61,033	39,431	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	城山ポンプ場施設を適切に維持管理していくために必要である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	国の補助金等を利用して効率的に実施している。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	平成3年度から実施をしていますが、経費の制約もあり、まだ多くの施設が未改築で安心できません。耐震対策も未実施で今後とも事業実施を継続します。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	改築計画に基づき補助対象として整備を進めていくが、補助金をめぐる状況は厳しいものがある。津波対策の検討が必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	改築計画に基づき整備を進め、機能の充実と向上を図り、平成26年度からは、耐震対策を実施していきます。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 下水道浄化センター	内線等	8009
事務事業名	413	春日浦ポンプ場維持管理事業			
根拠法令等	蒲都市下水道条例第2条	事業開始年度 事業期間	平成6年度		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	下水道		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	生活排水対策・快適な都市環境づくりのまちづくり				
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み				

事務事業の内容

目的 (何のために)	市街地における雨水を排除するため
対象(受益者) (誰・何を)	形原町地内川原排水区を対象に
目標 (目指す成果)	雨水による浸水防止を目指し
そのための 手段 (手法)	ポンプ場施設を適正に維持管理する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
雨水排出量	296,100m <sup>3</sup> /年	258,048m <sup>3</sup> /年	280,000m <sup>3</sup> /年
維持運転委託料	2,772,000円/年	5,183,640円/年	5,184,000円/年
電気料	957,907円/年	1,004,963円/年	1,150,000円/年

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
雨水ポンプ稼働率	目標			1.2%	年度
	実績	1.3%	1.2%		
	目標				年度
	実績				
	目標				年度
	実績				

指標の説明

雨水ポンプ稼働率	(雨水ポンプ稼働時間/年間時間) × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.15人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.05人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.15人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.05人	係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	10,104	13,929	9,868
	人件費	1,438	1,390	
	合計	11,542	15,319	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	11,542	15,319	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	形原町川原排水区の雨水による浸水防止のために必要である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	平成22年度から3年間の包括管理委託を実施して、経費の軽減と民間ノウハウを取り入れた効率的な維持管理を実施している。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全に資している。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	施設全体としての程度は良いが、雨水排水ポンプの機能が低下しているため改修が必要である。また、津波対策の検討が必要である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	ポンプ3内の内2台は、平成23年度までに修繕が終了し、残り1台を平成24年度に実施する予定である。

平成22年度事務事業評価表	担当	上下水道部 下水道浄化センター	内線等	8009
---------------	----	-----------------	-----	------

事務事業名	414	海陽ポンプ場維持管理事業		
根拠法令等	蒲都市下水道条例第2条	事業開始年度 事業期間	平成13年度	
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	下水道	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	生活排水対策・快適な都市環境づくりのまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み			

事務事業の内容

目的 (何のために)	市街地における下水の排除のために
対象(受益者) (誰・何を)	海陽町地内処理区に居住する住民を対象に
目標 (目指す成果)	豊川流域下水道へ汚水の円滑な送水を目指し
そのための 手段 (手法)	中継ポンプ場施設を適正に維持管理する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
汚水送水量	192,128m <sup>3</sup> /年	198,948m <sup>3</sup> /年	200,000m <sup>3</sup> /年
維持運転委託料	2,394,000円/年	3,825,360円/年	3,826,000円/年
電気料	635,586円/年	647,303円/年	774,000円/年

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
汚水ポンプ稼働率	目標			20.0%	
	実績	17.6%	19.2%		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

汚水ポンプ稼働率	(汚水ポンプ稼働時間/年間時間) × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.15人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.05人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.15人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.05人	係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	4,801	4,501	4,628
	人件費	1,438	1,390	
	合計	6,239	5,891	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	6,239	5,891	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	海陽町地区の汚水を豊川流域下水道へ送水するために必要な施設である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	汚水発生量が計画水量より低いため、稼働率が低い。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全に資している。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	経過年数が短いため施設の程度は良いが、ラグーナ汚水量見直しによる適切な施設規模及び津波対策への検討が必要である。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	小規模修繕にて対応する。